

【策定趣旨】本町では鉄道・バス・タクシーが生活に不可欠な交通手段となっている一方、人口減少や自家用車の普及により利用者が減少し、維持が困難になっています。そこで、公共交通の利便性向上と利用促進を図り、持続可能な交通体系を構築するため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき「会津坂下町地域公共交通計画」を策定します。

【基本方針】 誰もが安心して暮らし続けられる、持続可能で利便性の高い公共交通の実現

	【計画の目標】	【施策】	【目標達成のための具体的事業】
課題と解決の方向性① 高齢化と低い満足度を踏まえ使いやすい公共交通の確保が必要	目標1： <u>利用者のニーズに対応した交通体系の確保</u> 日常生活の移動手段として、地域の実情や利用実態を踏まえた交通体系の再構築を進めるとともに、需要に応じた運行体系の導入や支援制度の拡充を図ることで、町民の移動手段を確保し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	施策1： 運行体系の再構築	事業1-1 域内交通（路線バス）の見直し・改善 事業1-2 広域交通（路線バス）の維持・確保 事業1-3 広域交通（鉄道）の維持・確保
		施策2： 新たな移動手段の確保	事業2 コミュニティバスなど新たな公共交通体系の検討・導入
		施策3： 補助制度の拡充	事業3-1 高齢者に対する路線バスICカード乗車券補助の継続・見直し 事業3-2 公共交通を利用している学生に対する通学定期補助の導入 事業3-3 タクシー助成券の見直し・拡充
課題と解決の方向性② 交通手段としての利便性が低く利用者ニーズに応じた見直しが必要	目標2： 利便性の高い公共交通の構築	施策4： 乗り継ぎ利便性の向上	事業4-1 広域交通との乗り継ぎ時間改善と接続便の確保 事業4-2 鉄道駅接続への検討・調整
		施策5： 利用環境の改善	事業5-1 公共交通情報ツールの強化 事業5-2 利用案内や待合環境の整備
課題と解決の方向性③ サービス維持が困難な中でも交通弱者のために持続可能な公共交通の構築が必要	目標3： <u>町民、交通事業者、行政の協働による持続可能なしくみづくり</u> 公共交通の維持・発展に向け、行政や交通事業者、地域団体、町民などの幅広い主体と連携し、持続可能な運行体制の構築や利用促進を進めることで、地域全体で公共交通を支えるという意識の醸成を目指します。	施策6： 担い手不足対策	事業6 第二種免許取得に対する支援
		施策7： 地域との協働による取組	事業7-1 地域と連携した啓発活動の充実 事業7-2 民間企業・施設と連携した利用促進
課題と解決の方向性④ 移動手段の維持に向け、交通事業者と連携した公共交通の利用促進が必要			

【計画の評価方法】計画策定（Plan）、施策・事業実施（Do）、モニタリング・評価（Check）、見直し・改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルの考え方により、毎年度の施策・事業の実施・評価・見直しという短期のPDCAサイクルと、計画期間を通しての長期のPDCAサイクルにより、計画の推進及び進捗管理を行います。